

# 第1学年 国語科指導案

1組 男子12名 女子15名 計27名  
指導者 福留 由美

授業の視点（分科会での討議の柱）

- ① 学び合い活動における「うろうろタイム」の在り方
- ② 自分の考えをもつための指導の在り方（個別指導・一斉指導）

<b>単元・題材名</b>	ちがいをかんがえてよもう どうぶつの赤ちゃん（光村図書1年下）
<b>単元（題材）・本時の目標（評価規準）</b>	
<p><b>【単元（題材）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の赤ちゃんについて説明されている文章や図鑑などを読み、進んで調べようとしている。【読むこと(2)ウ】</li> <li>・時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み、本や文章から大事な言葉や文を書きぬくことができる。【読むこと(1)ア】</li> <li>・主語と述語の関係に注意して、敬体で書かれた説明を理解できる。【知識及び技能(1)カキ】</li> </ul>	
<p><b>【本時】（9/11）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が興味をもった動物の赤ちゃんについて、教材文の構成を生かし、図鑑から読み取ったことを基に紹介する文を書くことができる。【読むこと(2)ウ】</li> <li>・動物の赤ちゃんの「大きくなっていくときの様子」について、友達との交流を通して、自分なりの言葉で表現することができる。【読むこと(2)ア】</li> </ul>	
<b>単元の位置とねらい</b>	
<p>本単元では、時間的な順序や事柄の順序を意識しながら内容の大体を読んでいく。そして、その構成を参考にして、自分が選んだ生き物についての紹介文を書くという活動を取り入れる。紹介文作りを通して、文と文の続き方に気を付けて文章を書く。また、文章を読み返す習慣を身に付けるとともに、間違いなどを正して、自分なりの紹介文を完成する。つかむ・見通す段階では、児童に動物の赤ちゃんの動画や写真を見せたり、「赤ちゃん」について知っていることを話し合ったりして学習の見通しがもてるようにする。その際、自分が紹介したい動物を選べるよう、教室内に掲示をしておくようにする。深める段階では、ライオンもしままも、生まれたときの様子と大きくなっていくときの様子の二つの観点で書かれていることに気付かせ、自分が選んだ動物を紹介するときにも同じ構成を使って書くという意識をもたせたい。</p> <p>生かす段階では、実際に自分の選んだ動物について紹介文を書き、それを友達と交流することで、読み返す習慣を身に付けたり、よりよい表現を見つけていく力を培いたい。</p> <p>本校での第1学年及び第2学年の研究主題は「学び合いをとおして、学びを深める授業の想像 ～ペア学習・グループ学習をとおして自分の思いや考えを伝え合う力の育成～」である。この目標を実現するために、ペア学習を多く取り入れている。この活動をとおして、自分の思いや考えに自信をもって伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりできるようにしていきたい。そこで本単元では、自分が選んだ動物の赤ちゃんについての紹介文を書く際、より分かりやすい言葉を見つけるために、二人で話し合ったり、アドバイスしたりする活動を取り入れていく。</p>	
<b>児童の実態（これまでの児童の様子の観察から）</b>	
<p>本学級の児童は、非常に明るく学習にも生活にも非常に元気に取り組んでいる。また、学習への意欲も高く、「次はどんな学習をするのだろう。」とわくわくしている様子も見られる。授業中も、「発表したい」という気持ちももっている。</p> <p>「読むこと」について、ほとんどの児童が、短い文章（3，4文程度）から必要なことを取り出して答えることはできる。しかし、少し長い文章（8，9文程度）になると、まず文章の大体を捉えることに時間がかかり、問いの答えを見つけ出すことが難しい児童が増えてしまう。そこで、本教材の構成を押さえ、その構成に沿って読むことで内容を把握できるということに気付かせたい。</p> <p>「書くこと」について、児童は三、四文程度の簡単な生活文は書けるようになってきている。しかし、それを詳しくするには、まだ対話をしながら書かないとうまく自分の思いを言葉にすることができない児童も多い。そのため、この単元では、きちんと文章構成をとらえさせ、文型にそって書く活動を取り入れ、教材文に即した、一つの「型」を身に付けられるようにしたい。</p>	

単元計画 ☆…「学び合い」の問い

学 習 内 容	教師の働きかけ
<p>1 ○ 単元の学習問題を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>① 赤ちゃんについて知っていることを出し合う。</p> <p>② 「どうぶつの赤ちゃん」の問いの部分を読み、学習の見通しをもつ。</p> <p>③ 単元の学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>単元のめあて どうぶつの 赤ちゃんずかんをつくろう。</p> </div> <p>④ 紹介したい動物を選ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の最後に、自分で選んだ動物の赤ちゃんについて紹介するということを伝え、単元のイメージがつかめるようにする。</li> <li>・児童の意欲を引き出すために、いろいろな動物の赤ちゃんの写真を見せる。</li> </ul>
<p>2 ○ ライオンとしまうま赤ちゃんの「生まれたときの様子」を読み取り、違いを比べる。</p> <p>3 ・「体の大きさ」「目や耳の様子」「親と似ているかどうか」について読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ライオンの赤ちゃんは○○だけど、しまうまの赤ちゃんは△△です。」と赤ちゃんの違いを言葉で表現させるために、「じぶんで」「じぶんでは」という表現の違いに着目できるようにする。</li> </ul>
<p>4 ○ ライオンとしまうまの赤ちゃんの「大きくなっていくときの様子」を読み取り、違いを比べる。</p> <p>5 ・「歩くときの様子」「えさの内容」「えさのとり方」について読み取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較しやすくするために、2つの教材文を並べるようにする。</li> </ul>
<p>6 ○ カンガルーの赤ちゃんについて読み取る。</p> <p>①カンガルーの赤ちゃんの様子をまとめる。</p> <p>②ライオンやしまうまの赤ちゃんに似ているところや違うところを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までに取り上げてきた観点に沿って読み取るようにするために、確認ができるようにする。</li> <li>・大きさの違いが実感するために、実際に一円玉を見せる。</li> </ul>
<p>7 ○ 自分で選んだ動物の赤ちゃんの紹介文を書く。</p> <p>①「生まれたときの様子」についてまとめる。</p> <p>②「大きくなっていくときの様子」についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介文を完成させるために、大きさを表す言葉や時間の経過を表す言葉など、教材文で押さえてきた言葉に着目できるようにする。</li> <li>・より相手に分かりやすい表現にするために、適切な言葉をペアで話し合い、考えることができるようにする。</li> </ul>
<p>8 ○ 紹介文を分かりやすく変身させるために「生まれたときの様子」についてまとめる。</p> <p>① ペアで学び合う。</p> <p>② うろうろタイムで学び合う。</p> <p>③ 自分の文章を読み返す。</p>	<p>☆「えらんだどうぶつのしょうかい文を、わかりやすくへんしんさせよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとってより身近な言葉に書き換えられるように声掛けをする。</li> </ul>
<p>9 本時 ○ 「大きくなっていくときの様子」についてまとめる。</p> <p>① ペアで学び合う。</p> <p>② うろうろタイムで学び合う。</p> <p>③ 自分の文章を読み返す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合っってよりよいものに変えていくことのよさが実感できるように、上手に推敲ができているものを取り上げるようにする。</li> </ul>
<p>10 ○ 紹介文を完成する。</p> <p>11 ○ どうぶつの赤ちゃん発表会をする。</p> <p>① 書いた紹介文を読む。</p> <p>② 友達の紹介文について評価する。</p> <p>③ 単元のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自信をもって読むことができるようにするために、ペアで練習をする。</li> </ul>

## 本時・「学び合い」の流れ

過程	学習活動	教師の働きかけ ※…評価
問いをもつ  5分	1 学習課題をつかむ。 ・前時を振り返り本時の学習について知る。 2 本時の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         えらんだどうぶつのしょうかい文を、わかりやすくへんしんさせよう。                     </div> 3 本時の学習の見通しをもつ。	・分かりやすい表現に変えていくために、前時で「生まれたときの様子」について学び合いをしたことを想起できるようにする。 ・児童が意欲をもって活動に取り組めるようにするために、前時で自分の言葉で表現できていた紹介文を取り上げるようにする。 ※ 本時の活動について見通しをもつことができたか。(観察)
学び合い(学び合いシート)	<b>視点</b>	～するとわかりやすくへんしんできる。
	<b>集団解決</b>	4 隣の児童とペアになり、「うごくとき」「おちちをのむ」「じぶんでたべものをとる」について考える。 (1) ペアで考える(片方)。(7分) (2) 違うペアで考える。(7分)(うろうろタイム) <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>C: どう書いたら分かりやすくなるかな。</p> <p>C: ここは「おちちをのむ」ことを書くから「〇〇くらいまで」って書くと分かりやすくなるよ。</p> <p>C: 自分で食べ物をとるようになるときはどう書いたらいいの。</p> <p>C: 「3週間くらいたつと」と入れると分かりやすく変身するよ。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>T: 友達にどんなことを教えてもらったのかな。</p> <p>C: 「お母さんがとってきたもの」を食べるって書いてあったから「じぶんでとる」にならないよって教えてもらったよ。</p> <p>C: 「まだ歩けない」を「おかあさんの背中につかまっている」って変身させたよ。</p> <p>C: いいね。</p> </div> </div>
35分	<b>再自力解決</b>	5 全体でフィードバックする。(途中2分) 6 残りの児童のワークシートを読み合う。 (1) ペアで考える(片方)。(7分) (2) 違うペアで考える。(7分) ※うろうろタイム 7 再自力解決をする。(5分) 学び合いを通して変わったワークシートを、自分でじっくり読み返し、最終的にどのような文章にするかを考える。
	8 学習のまとめをする。 ・今日の学習について考えたことや分かったことなどを発表する。 ・もともとの表現に比べて分かりやすくなったワークシートを提示する。 9 次時の学習について知る。	・実際に分かりやすくなったものを全体で共有し、学び合いをすることの良さが実感できるようにする。 ・次時は推敲した文を清書することを知らせる。 ※ 本時についての自分なりの反省をし、次時の活動の見通しをもつことができたか。(発言・観察・ノート)

## 板書計画

白い広幅用紙	一年 ぐらいたつと、じぶん そのあとは、 つぎの日には、	じぶん でたべもの をとる	生まれて 二か月 ぐら いは、 七日 ぐら いのあいだ	大きくなつていくとき のようす うごくとき おちちをのむ	えらんだどうぶつ の 赤ちゃんの しょうかい文を わかり やすく へん しんさせよう。	どうぶつ の 赤ちゃん  ますい みつこ
--------	------------------------------------	---------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	---	-------------------------------

## ワークシート

## メモ

授業の視点（分科会での討議の柱）

- ① 学び合い活動における「うろうろタイム」の在り方
- ② 自分の考えをもつための指導の在り方（個別指導・一斉指導）

--

## 第3学年 外国語活動指導案

2組 男子17名 女子12名 計29名  
 指導者 佐藤 愛  
 J T E 中村 真穂

### 授業の視点（分科会での討議の柱）

- 積極的にコミュニケーションを図る手立ては効果的だったか。
- 中学年の文字指導の在り方はどうあるべきか。

- 1 単元名 「アルファベットとなかよし」
- 2 単元について
  - (1) 単元の位置とねらい

これまで児童は、第3学年で「ごきげんいかが」「数えてみよう」「好きなもの」「何が好き?」「何が欲しい」の学習を通して、挨拶の仕方や自分の気持ちを答えたり、相手の気持ちを尋ねたりする表現などについて慣れ親しんできている。これらの学習を通して、児童は積極的にコミュニケーションを図ろうとしたり、お互いのことを伝え合う喜びを味わったりして、楽しもうとしている。また、外国の文化についてふれる場面もあり、外国に対する興味・関心も高くなってきている。

本単元では、自分の姓名のアルファベットを紹介することを単元のゴールと位置づける。アルファベットの大文字に慣れ親しむとともに、ゲームをしたり、友達と身体表現をしたりする活動を通して、コミュニケーションを図ることへの積極性を高めながら、その楽しさやよさに気づくことをねらいとしている。

児童は、英語を使ってお互いの理解を深め、身の周りのことを英語で表現することにさらに興味・関心を広げていくものと考ええる。

- (2) 児童の実態（対象者：児童29名 実施日：平成31年1月9日 質問紙法）

1	外国語活動の授業は楽しいですか。 とても楽しい（21名） 楽しい（8名） あまり楽しくない（0名） 楽しくない（0名）
2	外国語活動の授業で、楽しいことは何ですか。楽しいと思うことに○をしましょう。 英語の歌を歌うこと（25名） 友達にインタビューすること（17名） 英語の言葉を覚えること（17名） 英語の本やお話（12名） 英語を使ったゲーム（28名） 友達のことが分かること（14名） みんなの前で発表すること（8名）
3	外国語活動の授業で苦手だと思うことは何ですか。苦手なことがあれば○をしましょう。 英語を使ったゲーム（0名） スキットを見ること（0名） 友達にインタビューすること（3名） 英語の歌を歌うこと（0名） 英語の本やお話（2名） 英語の言葉を覚えること（5名） みんなの前で発表すること（3名） グループの友達に発表すること（0名）
4	外国語活動の授業をするときに、気をつけていることはどんなことですか。 誰とでも仲良くすること（24名） 声の大きさに気をつけること（20名） 相手の目を見て活動すること（25名） 笑顔で活動すること（17名） 積極的に活動すること（23名）
5	もっといろいろな英語を使って、話してみたいですか。 話したい（24名） 少し話してみたい（5名） あまり話したくない（0名） 話したくない（0名）
6	外国語活動の授業の中で、誰とでも仲よく活動できていると思いますか。 よくできている（25名） できている（4名） あまりできていない（0名） できていない（0名）
7	ABCの歌を知っていますか。 知っている（27名） 知らない（2名）

【考察】

- 本学級の児童は、全体的に外国語活動の授業が楽しいと感じている（問1）。特に、ゲームが楽しいと答えた児童が多い。また、歌や友達とのコミュニケーション活動にも関心が高い（問2）。
- 発表に対する苦手意識がややあり、特にクラスみんなの前で発表することが苦手と答えた児童が多い（問3）。
- 誰とでも仲良く進んで活動することを心がけている児童が多い。また、場面に応じた声の大きさに気を付けている児童も多い（問4）。
- もっと英語を話したいかについては、問5より意欲の高さが分かる。
- 授業の中で誰とでも仲よく活動できているかという問いに対しては、できていると答えた児童が多い（問6）。
- 本時で扱うアルファベットの歌については、多くの児童が知っていることが分かる（問7）。

(3) 指導にあたって

- コミュニケーション活動を多く取り入れることで、その楽しさを味わわせながら、さまざまな場面でコミュニケーション能力の素地を養っていききたい。
  - 児童が自信をもって活動できるように、チャンツや歌を使って繰り返し練習したり、ゲームをしたりする。
  - コミュニケーションクラスルームイングリッシュ（※）を確認し、活動の中で実際に使っていくことで、児童同士がよりよいコミュニケーションを図りやすい雰囲気を作っていきたい。
  - JTE とのやり取りを通して、アルファベットの発音の仕方に気づけるようにしたい。
  - 達成感を味わわせるために、グループで発表させた後にみんなの前で発表する機会を設定する。発表児童については、友達や教師が称賛する。
- ※ コミュニケーションクラスルームイングリッシュとは、ほめる言葉や会話をつなぐ時に使えるクラスルームイングリッシュのことを言う。以下、クラスルームイングリッシュと表記する。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ・ 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 (知識・技能)
- ・ 自分の姓名の頭文字を伝え合う。 (思考力・判断力・表現力)
- ・ 相手に配慮しながら自分の姓名の頭文字を伝えようとする。 (学びに向かう力)

(2) 単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身の回りにはアルファベットの大文字で表されているものがあることに気付く。</li> <li>○ アルファベットの大文字とその読み方に慣れ親しむ。</li> </ul>
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アルファベットや自分のことを紹介する表現を使って、自分の姓名の頭文字を伝えている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 笑顔で相手の目を見ながら、声の大きさに気を付けて、積極的に友達に自分の姓名のアルファベットを紹介したり、友達の紹介に関心をもって聞いたりしている。</li> </ul>

4 単元の指導・評価計画（全4時間）

時間	目標と主な活動	評価				
		知	思	主	評価規準	評価方法
1	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">大文字を見つけよう。</div> ① 挨拶 ② クラスルームイングリッシュ ③ 大文字共通点探し ④ チャンツを使った発音練習 ⑤ 歌♪Let's Try!1 ABC song ⑥ 「大文字探し」(Let's Try! 1) ⑦ 身の回りのアルファベット探し ⑧ 振り返り	○			○ 身の回りにはアルファベットの 大文字で表されているものがあることに気付く。	観察 振り返りカード
2	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">アルファベットをたくさん聞いて体で表現しよう。</div> ① 挨拶 ② 歌♪Let's Try!1 ABC song ③ クラスルームイングリッシュ ④ チャンツを使った発音練習 ⑤ 大文字の線つなぎ ⑥ 身体でアルファベット表現 ⑦ 振り返り	○			○ アルファベットの 大文字とその読み方に慣れ親しむ。	観察 振り返りカード
3	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分の名前の頭文字を集めよう。</div> ① 挨拶 ② 歌♪Let's Try!1 ABC song ③ クラスルームイングリッシュ ④ スキット ⑤ チャンツを使った発音練習 ⑥ アルファベットの大文字集め ⑦ 自分の姓名の頭文字紹介カードの作成 ⑧ 振り返り	○		○	○ アルファベットの 大文字とその読み方に慣れ親しむ。  ○ 笑顔で相手の目を見ながら、 声の大きさに気を付けて、積極的に 友達と活動する。	観察 振り返りカード
4 (本時)	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分の名前の頭文字を紹介しよう。</div> ① 挨拶 ② 歌♪Let's Try!1 ABC song ③ クラスルームイングリッシュ ④ スキット ⑤ チャンツを使った発音練習 ⑥ カード集め ⑦ 自分の姓名の頭文字の紹介 ⑧ 振り返り		○	○	○ アルファベットや自分のことを紹介する表現を使って、 自分の姓名の頭文字を伝えている。  ○ 相手の目を見ながら、声の大きさに 気を付けて、友達に自分の姓名の アルファベットを紹介したり、友達 の紹介に関心をもって聞いたり している。	観察 紹介カード 振り返りカード

5 本時の指導（4/4）

(1) 目標

- 相手に配慮して、自分の姓名の頭文字を紹介したり、友達の発表に関心をもって聞いたりする。

(2) 指導にあたって

【Warm-up】

- 挨拶や質問、歌を歌うことにより、楽しい雰囲気の中で学習への意欲付けができるようにする。次に、クラスルームイングリッシュを確認し、お互いを認め合う雰囲気作りも行う。
- スキットでは、紹介の仕方について知り、めあてにつなげる。めあてを確認した後、自分の目標を視点（積極的・笑顔で・目を見て・声の大きさ・挨拶・仲良く・反応）から2つ選ばせ、それらを意識して活動に臨むように声かけを行う。

【Activity】

- 児童の興味・関心が持続するように、リズムよく繰り返し発音練習をする。自信をもって発音できるように、言いにくいアルファベットを確認する。
- カードを集める活動では、やり取りを通して繰り返し発音させることで、次の紹介活動へスムーズに入れるようにする。
- 自分の姓名の頭文字の紹介では、紹介の仕方を児童に視聴させて確認する。自信をもって紹介できるように、発表の前に十分に練習の時間を設定する。意欲が高い児童には全体で発表する場を設ける。

【Review】

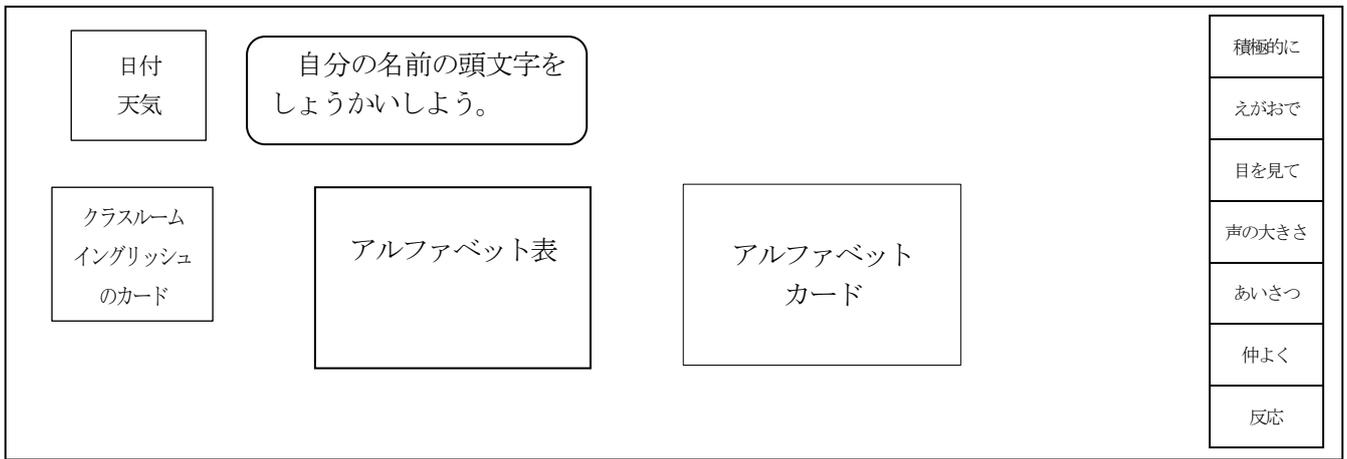
- 振り返りカードを用いて、各項目（自分の目標・よかった友達）について振り返らせ、発表させることで学習の達成感を味わわせるとともに、次時の活動への意欲付けにつなげるようにする。

(3) 本時の展開（4／4）

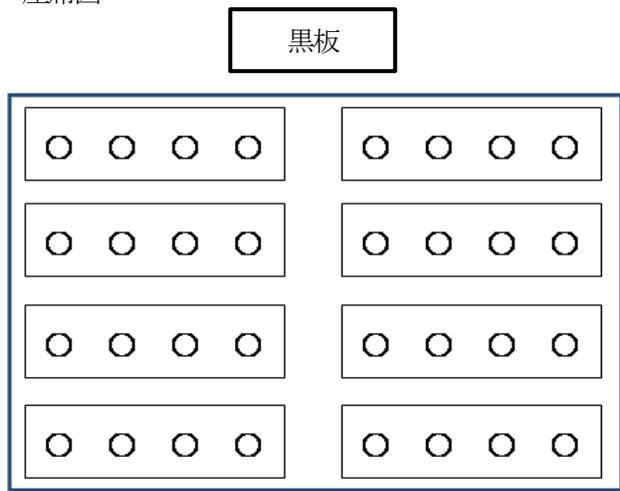
時間	主な学習活動	教師の働きかけ（※評価）	基本的な語彙・表現
5	<p>《 Warm-up 》</p> <p>1 挨拶をする。</p> <p>2 歌を歌う。 ♪Let's Try!1 ABC song</p> <p>3 クラスルームイングリッシュの練習をする。</p> <p>4 スキットを見る。</p> <p>5 めあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     自分の名前の頭文字をしようかいしよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気よく挨拶を交わして意欲を高める。</li> <li>元気よく歌うように声をかけて、明るい雰囲気を作る。</li> <li>ほめる言葉について確認し、活用場面を意識して練習させる。</li> <li>スキットを視聴させ、本時の活動を説明し、めあてにつなげる。</li> </ul>	<p>How's the weather?</p> <p>Nice. Good.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【スキット】</p> <p>A : Hello!</p> <p>B : Hello!</p> <p>A : I'm Sato Ai.</p> <p>    "S" and "A".</p> <p>    Thank you.</p> <p>B : Nice.</p> </div>

33	<p>《 Activity 》</p> <p>6 アルファベットの発音や “What do you want?” “~please.” の言い方をチャンツで練習する。</p> <p>7 カード集めゲームをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① カードをペアで協力しながらアルファベット順に並べる。</p> <p>② ペアの中で集める人と渡す人に分ける。</p> <p>③ スキットのようにやり取りをしながら自分の姓名の頭文字を集める。</p> <p>④ 時間で区切り、集めたカードを最初に並べたカードの上に置く。</p> <p>⑤ 役割を交替して活動を行う。</p> </div> <p>8 自分の姓名の頭文字を友達に紹介する。</p> <p>9 「レッツトライ！」をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自信をもって活動できるように、言いにくいアルファベットや言葉は、繰り返し練習させる。</li> <li>・ スキットを見せて、活動への見通しをもたせる。</li> <li>・ アルファベットを発音させながら、ペアで活動させる。</li> <li>・ 楽しく活動できるようにするために、戸惑っている児童に声をかける。</li> <li>・ たくさんの友達と活動するように声をかける。</li> <li>・ 紹介の際に使用する表現を確認する。</li> <li>・ 友達の発表を聞いた後に、クラスルームイングリッシュを使って反応するように助言する。</li> </ul> <p>※ 自分の姓名の頭文字を伝えている。</p> <p>※ 相手に配慮して、姓名のアルファベットを紹介したり、友達の紹介に関心をもって聞いたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ やってみたい児童を中心に発表させる。</li> </ul>	<p>A, B, C, D, E, F, G, H, I, J, K, L, M, N, O, P, Q, R, S, T, U, V, W, X, Y, Z ~please. Here you are. Thank you.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【スキット】</p> <p>A : Hello! B : Hello! A : What do you want? B : “S” please. A : Here you are. B : Thank you. A&amp;B : See you.</p> </div> <p style="margin-top: 10px;">What do you want? ~ please.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【スキット】</p> <p>A : Hello! B : Hello! A : I’m Nakamura Maho. “N” and “M”. Thank you. B : Nice.</p> </div>
7	<p>《 Review 》</p> <p>10 学習したことを振り返る。</p> <p>11 挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 振り返りカードを使って、観点に沿って記入させる。</li> <li>・ クラス全体としてよかったことを称賛し、次時の活動への意欲付けを図る。</li> </ul>	<p>That’s all for today. See you.</p>

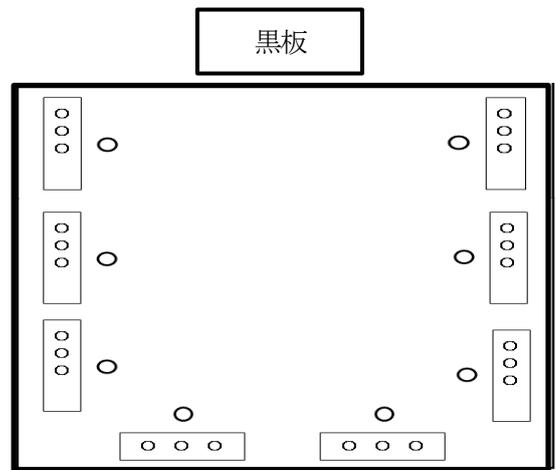
板書計画



① 座席図



② 活動時の座席



授業の視点（分科会での討議の柱）

- 積極的にコミュニケーションを図る手立ては効果的だったか。
- 中学年の文字指導の在り方はどうあるべきか。

メモ

## 第5学年 外国語科指導案

平成31年2月8日（金）6校時

1組 男子19名 女子19名 計38名

指導者 T1 有木園和志

T2 小窪卓也

### 授業の視点（分科会での討議の柱）

- Small Talk を通して、人の特徴を表す英語を引き出す学び合いの場は効果的であったか。
- グループ活動での学び合いは、新出語彙を覚えるのに効果的であったか。

#### 1 単元名「あこがれの人」

教材名 We Can! 1 Unit 9 Who is your hero? 文部科学省

#### 2 単元について

子どもたちはこれまでの学習を通して、職業やできること、状態・気持ちなどに関する表現に慣れ親しんできた。また、「She can run fast. He can jump high」の単元ではできることに加えて He や She などの三人称の主語にも慣れ親しんできている。

そこで、あこがれたり尊敬したりする人について、これまで慣れ親しんできた表現を使いながら、自分の考えや気持ちを含めて伝えることねらいとして、本単元を設定した。

本単元では、まず、教師と児童による Small Talk を行い、繰り返し聞いた上での教師とのやり取りを通して、本単元で取り扱う表現に慣れ親しませるとともに、本単元のゴールの見通しをもてるようにする。次に、既習表現である職業やできること、状態や気持ちに関する表現を振り返るとともに、あこがれたり尊敬したりする人を紹介するときに必要な、本単元で取り扱う基本的な語彙や表現に、様々なアクティビティを通して慣れ親しむことができるようにする。最後に、My Book を使った発表や、友だちを紹介する活動を行うことで、本時で学習した語彙や表現を活用することができるようにする。

本単元で身に付けた力は、「主語＋動詞＋目的語」の文の語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする、第6学年の学習へと発展していく。

#### 3 児童の実態（質問紙 平成31年1月 38名実施）

##### （1）関心・意欲・態度

##### ① 外国語の中で好きな活動とその理由（自由記述）

- ゲーム 41件（楽しい、仲良くなれる、覚えやすい、たくさん発音できる など）  
※ 仲間集め⑱、カード⑳、キーワード㉑、メモリー①、パソコン①、インタビュー①
- My Book 作り 19件（本ができるのが楽しい、絵が好き）
- My Book 発表 4件（発表が好き、覚えるのに役に立つ）
- 歌 3件（好き、覚えやすい、気持ちいい）
- スキットを見る 2件（意味を想像するのが楽しい）
- その他 3件（外国のことを知る、文字を書く、文字を読む）

② 英語を使ってできるようになりたいこと（自由記述）

- 話したり聞いたりできるようになりたい 32件  
(外国人と⑩, 言葉を覚える⑤, 正しい発音で②, スキットを理解する②, 文で①,  
自己紹介を詳しく①, 会話を続ける①, ジェスチャーを交えて①, 外国人を助ける①,  
日常で①, 友だちと交流①, 進んで発表①)
- 読み書きができるようになりたい 13件 (文字を正確に書く⑨, 読む④)

(2) 既習内容に関する実態（質問紙）

① 状態を表す語（beautiful, great, delicious, fun, exciting）の理解

・正答36名      ・誤答 2名

② 「I can ○○.」を使った文の理解

・正答23名      ・誤答15名

(3) 分析・考察

関心・意欲・態度に関する結果より、まず、多くの回答があげられていたことから、本校児童の外国語への意欲が非常に高いことが分かる。「好きな活動」については、特にゲームをあげている児童が多い。その中でも、仲間集めゲームやカードを使ったゲーム等といった、友達同士でコミュニケーションをとる活動の中で、楽しさを感じたり、人間関係をよりよくしたり、外国語を覚えたりする児童が多い。そのため、本単元においても、友達同士でコミュニケーションをとる活動を積極的に設定していく。また、作成した My Book を使って発表することについても関心が高いため、単元導入時に My Book を使って発表するという単元のゴールを明確にすることで、児童の意欲を高められるようにしたい。

「英語を使ってもっとできるようになりたいこと」に関する項目では、話したり聞いたりする内容がほとんどで、次に読んだり書いたりする内容が多かった。ここでも、コミュニケーションをとることに意欲をもっていることが分かるため、単元導入時の Small Talk では、既習、未習を問わずたくさんの英語を聞かせたり、やり取りをしたりする活動を通して、内容の大体を想像させたり、やり取りの仕方を身に付けさせたりしたい。また、単元を通して教師が積極的に英語でコミュニケーションをとることで、英語での思考判断をすることができるようにしたい。その際、表情やジェスチャー等を十分に活用し、未習の内容についても児童が内容の大体を理解できるように配慮する。

「文字に親しむ活動」に関する活動についても、単元のほとんどの時間で取り入れるようにし、児童に無理のない範囲で、文字に親しむ活動に意欲的に取り組めるようにしたい。

既習内容に関する実態については、状態を表す言葉、I can を使った表現ともに、よく理解している。ただし、「I can ○○.」と「I can't ○○.」の聞き間違いをしている児童も多かったため、can を使った表現の復習をする際には、その違いについて再度確認する必要がある。また、He や She を使った表現や、職業に関する表現については、移行期間ということもあり、それぞれ、「できない」「夢の時間割」の単元で、少し取り扱った程度なので、本単元で新出と同じような形で確認しておく必要がある。

#### 4 単元の目標

知識 及び技能	○ 様々な語彙の日本語との類似点や相違点に気付くことができる。 ○ 簡単な語句や表現を書き写すことができる。【書くこと】
思考力, 判断力, 表現力等	○ あこがれの人について, 特徴, 得意なこと, できることを含めてジェスチャーや Show and Tell の手法を使いながら5文程度で発表したり, 聞いたりすることができる。【話すこと (発表)】【聞くこと】 ○ 相手の話を聞いて, 相づちを打ったり質問や感想を言ったり, 相手に意見を求めたりしながら2往復程度のやりとりをすることができる。【話すこと (やり取り)】
学びに向かう力, 人間性等	○ あこがれたり尊敬したりする人について紹介する表現に興味をもち, 他者に配慮しながら, 自分の意見を含めて紹介し合おうとする。

#### 5 単元の基本的な語彙・表現

##### (1) 基本的な語彙

<p>～新出語彙～          (状態・気持ち・特徴) cool, fantastic, gentle, kind, brave, funny, strong (active, friendly, tough)          (その他) hero, (flute, family, fox, yak, zebra, zoo)</p> <p>～既習語彙～          (状態・気持ち) fine, happy, good, sleepy, hungry, tired, sad, great, big, small, long, shiny, scary, round, furry (3年) hot, cold, short (4年) beautiful, delicious, exciting, fun (5年)          (動作) visit, buy, eat, play, ride, swim, skate, ski, cook, dance, run fast, jump high, sing well (5年)          (スポーツ) soccer, baseball, basketball, dodgeball, seimming, sport, volleyball, table tennis (3年)          (日課) wake-up, breakfast, study, lunch, snack, dinner, homework, TV, bath, bed, dream, wash my face, go to school, go home, brush my teeth, put away my futon, check my school bag, leave my house, take out the garbage (4年)          (職業) baseball player, doctor, fire fighter, florist, police officer, vet (5年)</p>
---

##### (2) 基本的な表現 (○新出, ◆既習)

<p>○ Who is your hero ?          ◆ This is my hero.          ○ He/She is good at (playing tennis) .          ○ He/She is a good (tennis player) .          ◆ He/She can (cook well) .          ○ He/She is [kind/cool/great/strong/gentle/active/brave/funny] .</p>
---

## 6 単元の指導に当たって

つかむ・見通す段階では、教師同士による Small Talk を十分に聞かせることで、単元のゴールへの見通しをもたせるようにする。その際、児童も巻き込みながら Small Talk を展開することで、既習事項の復習をしたり、やり取りの中で表現を身に付けさせたりするようにする。また、どのような表現があるかを考えさせる学び合いの場を設定することで、日本語を変化させたり、知っている言葉を使って言い換えたりしながらコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けられるようにする。

調べる段階では、友達同士でコミュニケーションをとる活動を積極的に取り入れることで、分からないところを教え合ったり、クラスルームイングリッシュを積極的に活用して会話を続けたりすることができるようにする。また、can を使った表現を取り扱う際には、can と can't の違いに繰り返し慣れ親しませることで、児童が聞き分けたり、使い分けたりすることができるようにする。

生かす段階では、My Book を使った発表や、友だちを紹介する発表についてそれぞれのよさを賞賛することで、児童の意欲を高められるようにする。

また、単元全体を通して、英語での説明や指示を重点的に行うことで、注意深く英語を聞き取ったりジェスチャーから推測したりしようとする姿勢を身につけさせる。黒板には、本時の学習計画を掲示し、見通しをもって授業に臨めるようにする。また、それぞれの時間の終末時には振り返りカードを活用し、児童の取り組みについて賞賛することにより、児童が意欲的に活動に取り組めるようにする。

## 7 単元の指導計画（全7時間）☆…学び合いの活動

	学 習 内 容	教師の働きかけ
1 本 時	<p>～単元のめあて～ My Book を使って、あこがれの人を紹介しよう。</p> <p>① 教師の Small Talk を聞き、単元のゴールへの見通しをもつ。</p> <p>人の特徴を表す言葉は、どんなものがあるのだろうか。</p> <p>☆ 人の特徴を表す語彙について考える。 kind/cool/cute/strong/brave/interesting/ gentle/fantastic</p> <p>☆ グループ活動を通して、人の特徴を表す言葉に親しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づきを大切にしながら、単元のゴールを明確に示すことで、児童の関心を高めることができるようにする。</li> <li>・学び合いの場を設定することで、人の特徴を表す言葉についての様々な言葉を引き出せるようにする。</li> <li>・カードを使ったグループでの活動を設定することで、子ども同士で教え合いながら、どんな人かを伝える表現に親しむことができるようにする。</li> </ul>
2	<p>何をしている人かを表す言葉は、どんなものがあるのだろうか。</p> <p>☆ 職業に関する表現について考える。 baseball player/doctor/fire fighter/ florist/vet など</p> <p>☆ 職業に関する語彙に親しむ。</p> <p>③ My Book 練習</p> <p>④ 文をなぞる・書き写す（文字）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合いの場を設定することで、職業に関する言葉についての様々な言葉を引き出すことができるようにする。</li> <li>・カード交換ゲームの活動を設定し、身に付けさせたい表現を繰り返し聞かせることで、英語での音声に親しむことができるようにする。</li> </ul>

3	<p>得意なことは、どのように伝えられるだろう。</p> <p>☆ 得意なことを伝える表現について考える。 He/She is good at ○○.</p> <p>☆ 得意なことを伝える表現に親しむ。</p> <p>③ 形容詞の頭文字を書く (文字)</p>	<p>・ We Can! 1 の Let's watch and think を聞いたり、得意なもののクイズをしたりする活動を設定することで、得意なことを伝える表現に親しむことができるようにする。</p>
4	<p>My Book を作ったり、友だちを紹介する準備をしたりしよう。</p> <p>☆ できることの三人称での表現に親しむ。 He/She can play スポーツ/play the 楽器 /cook/swim/sing/dance.</p> <p>☆ My Book の作成</p> <p>③ 友だち紹介の内容を考える。</p> <p>④ 単語をなぞる・書き写す (文字)</p>	<p>・ あらかじめ紹介したい人に関するイラストや写真等を準備しておくことで、主体的に My Book 作りを行うことができるようにする。</p> <p>・ グループで相談しながら My Book の内容を考える時間を設定することで、自分が伝えたい内容を理解しながら作成できるようにする。</p>
5	<p>有名人の得意なことを紹介し合おう。</p> <p>☆ 得意なことを伝える表現に親しむ。 He/She is 名前/職業/特徴. He/She is good at ○○.</p> <p>② My Book 練習</p> <p>③ 友だち紹介の練習</p> <p>④ 単語をなぞる・書き写す (文字)</p>	<p>・ We Can! 1 の Let's watch and think を聞く活動や、カード交換ゲームの活動を設定することで、あこがれの人の名前や得意なことを伝える表現に親しむことができるようにする。</p>
6	<p>友だちのことを紹介し合おう。</p> <p>☆ 友だちを紹介するための表現に親しむ。 He/She is 職業 He/She is good at ○○. He/She can ○○. He/She is どんな人</p> <p>② 友だちを紹介し合う</p> <p>③ My Book の練習</p> <p>④ 文をなぞる・書き写す (文字)</p>	<p>・ 友だちを紹介し合う活動をインタビュー形式で行うことで、クラスルームイングリッシュを活用しながら、互いの発表に対する反応を返し、会話を続けることができるようにする。</p>
7	<p>あこがれの人を紹介しよう。</p> <p>☆ あこがれの人を紹介するための表現に親しむ。 He/She is 職業 He/She is good at ○○. He/She can ○○. He/She is どんな人</p> <p>② My Book の活動</p> <p>③ My Book の下部をなぞり書き写す</p>	<p>・ グループでの発表後、互いにほめ合ったり、アドバイスし合ったりする時間を設定することで、達成感を味わうとともに、英語での活動への意欲を高められるようにする。</p>

8 本時 (1 / 7)

(1) 目標

- 教師の Small Talk を聞き、内容の大体を理解し、教師の質問に積極的に答えようとするとともに、単元の学習への見通しをもち、進んで取り組もうとする。【学びに向かう力、人間性等】
- 人の特徴を表す言葉について理解することができる。【知識・理解】

(2) 実際 (  は学び合い)

過程	学習活動	時間	教師の働きかけ ※…評価
つ か む ・ 見 通 す	1 Small Talk を聞く。 ・ティームティーチングで他者の紹介を聴いたり、教師からの質問に答えたりする。 ・本単元のゴールにあたる My Book 発表を聞く。 2 本時のめあてを確認する。 人の特徴を表す英語は、どんなものがあるのだろう。	12	○ T.T.による, Small Talk を聞いたり, 問いかけに答えたりする活動の中で, 言語の働きや役割に関する理解や外国語の音声, 語彙・表現, 文法の知識がさらに深まるようにする。 ※ 教師の Small Talk を聞いて, 内容の大体を理解し, 問いかけに答えようとしている。(行動観察)
調 べ る  深 め る ・ 生 か す	3 人の特徴を表す英語について考える。 kind, cool, cute, strong, brave, interesting, gentle, fantastic 4 人の特徴を表す英語の練習をする。 (1) チャンツ (2) グループアクティビティ (Hidden cards) ① カードを裏返しに3枚並べ, 1枚目から, 何のカードかを予想する。 ② 正解だったら, 2枚目, 3枚目と進み, 3枚とも正解したら, カードをもらえる。不正解だったら, カードを全て裏返し, 次の人に解答権が移る。	10  5  10	○ 学び合い場を設定することで, 既習の語彙表現や, 日常で使っている英語を引き出すことができるようにする。 ○ リズムよく発音の練習をすることで, 英語の音声に慣れ親しむことができるようにする。 ○ グループ活動の中で, ほめたり教え合ったりすることを通して, 情報や考え等を伝え合い, 自らの考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ※ 人の特徴を表す言葉を使って活動することができる。(行動観察)
振 り 返 る	5 本時の振り返りをする。 ・振り返りカード 6 次時の学習内容について知る。 ・He/She is good at ○○.	8	○ 児童のよかったところを賞賛することで, 達成感を味わわせると共に次時の活動への意欲をもつことができるようにする。

本時の「めあて」

人の特徴を表す言葉はどんなものがあるのだろう。

実際の「学び合い」

視 点

「優しい」「おもしろい」「すごい」「かっこいい」「かわいい」などを英語やジェスチャーで説明する。

1 集団解決 ペア → (グループ) → 一斉 10分間

予想される児童の考えと教師の発問

C: 「優しい」の英語が分からない。

T: 別の日本語に置き換えてみるといいよ。

C: 「助ける」は「Help」だ。Help を使って説明できそうだ。

C: 「おもしろい」はどう伝えればいいかな。

T: 世界一周旅行へ行こうの単元を思い出してみよう。

C: It is fun.があった。fun かな。

C: 「すごい」どう表せばいいだろう。

T: クラスルームイングリッシュを思いだそう。

C: Great, Excellent, Wonderful など色々な言葉を知っていた。

C: kind, gentle は何が違うのかな。

T: ほとんど同じだけど、What do you want? が kind で What would you like?の方が Gentle かな。

C: より丁寧な方が Gentle なんだ。

2 アクティビティでの活用 3, 4人グループ 10分間

・A (おもしろいは何だったかな?) 「Hint please.」

→ B 「i, i, i...」

→ A 「interesting」

本時の「まとめ」

(人の特徴を表す言葉は「kind, cool, cute, strong, brave, interesting, gentle, fantastic」がある。)

ふりかえり

- ・日本語の意味を英語やジェスチャーで伝えることができた。
- ・おもしろいは fun, interesting, 優しいは kind, gentle の2つがあるんだ。
- ・「学び合い」でみんなに自分の考えを参考にしてもらった。
- ・忘れたときに友だちが教えてくれた。／友だちに教えることができた。

## 主な発問計画

### 1 Small Talk を聞く。

(1) T1 と T2 が互いに他者をクイズ形式で紹介しながら既習表現の復習を図る。

- ① He is 名前.
- ② He is 職業.
- ③ Can he play volley ball?  
C : Yes,he can./No,he can't.
- ④ Yes,he can. He can play volleyball./No,he can't. He can't play volleyball.  
※③, ④を繰り返す。

(2) My Book を使用し、「Who is it?」クイズ形式のモデルスキットを行う。

- ① Who is he/she ?
- ② He/She is a good ○○.
- ③ He/She can ○○. (4～6 程度)
- ④ He/She is good at ○○.
- ⑤ He/She is [kind/cool/cute/strong/brave/interesting/gentle/fantastic/great]

### 3 本時のめあてを確認する。

- ① Please tell me about your homeroom teacher.  
C : She is [cute/cool/good/great/wonderful/excellent/やさしい/おもしろい]

人の特徴を表す英語は、どんなものがあるのだろう。

- ② Let's say today's aim.
- ③ What's Yasashii?
- ④ Please tell me in English and gesture.

### 6 次時の予告 (can と be good at のちがいに気づかせる。)

- ① He can play basketball.
- ② He can play basketball well.
- ③ He can play basketball very well.
- ④ He is good at playing basketball.

# 第 6 学 年 国 語 科

2組 男子 17名 女子 14名 計 31名  
指 導 者 田野辺 浩一 (西原台小)

《授業の視点》 対話をとおして、自分の考えを広げたり深めたりする学習指導の在り方

## 単元・教材名

登場人物の関係をとらえ、人物の考え方や生き方について話し合おう  
教材名 「海の命」 立松 和平 文 (光村図書 6年)

## 単元(題材)・本時の目標(評価規準)

### 【単元(教材)】

- 作品の構成や展開について理解することができる。 [知識及び技能 (1)カ]
- 登場人物の相互関係や心情の変化などについて描写を基にとらえ、人物の考え方や生き方を読み取ることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等 読むこと(1)イ]
- 根拠を明らかにしてまとめた自分の考えを、友達と共有しながら広げたり深めたりすることができる。 [思考力, 判断力, 表現力等 読むこと(1)カ]
- 作品に描かれている登場人物のつながりや心情を読み取りながら、主人公の考え方や生き方について自分の考えをもととする。 [学びに向かう力, 人間性等]

### 【本 時】(5/6)

お互いの「読みの課題」をテーマに対話することを通して、自分の読みを広げたり深めたりすることができる。

## 単 元 の 位 置 と ね ら い

本単元では、主に、登場人物の相互関係や心情などについて描写を基にとらえたり、互いの考えを共有しながら自分の考えを深めたりする力を身に付けさせたいと考え、「登場人物の関係をとらえ、人物の考え方や生き方について話し合おう」という単元を貫く学習課題を設定した。そこで、本教材を用いて、主人公とその成長に関わる複数の人物の関係に着目して読み深める学習を行うとともに、個々の児童が、作品を読んで考えたことについて友達と対話することを通して、自分自身のものの見方・感じ方を広げ、深めていけるようにしたい。

## 児 童 の 実 態 (平成 30 年 12 月 7 日 児童数 30 名 質問紙法)

### 【単元(教材)】に関する問題

- 話の流れに合うように、内容を並びかえましょう。  
・正答 21名 ・誤答 9名
- この時の、大造じいさんの気持ちとしてふさしいものはどれでしょう。  
・正答 25名 ・誤答 5名
- 大造じいさんの残雪をつかまえようという強い気持ちが表れている部分と、その部分を選んだ理由を書きましょう。  
[気持ち] ・正答 27名 ・誤答 3名 [理由] ・正答 19名 ・誤答 11名

### 【学び合い】に関する質問

- 文章を読んで思ったことや考えたことを、進んで友達と伝え合ったりしていますか。  
・している 12名 ・どちらかといえばしている 17名 ・どちらかといえばしていない 1名 ・していない 0名
- 自分と友達との考えの違いに気付いたり、お互いの考えのよさを認め合ったりしていますか。  
・している 14名 ・どちらかといえばしている 15名 ・どちらかといえばしていない 1名 ・していない 0名
- 友達の考えでいいと思ったところは進んで取り入れて、新たな考えを作り出すようにしていますか。  
・している 8名 ・どちらかといえばしている 18名 ・どちらかといえばしていない 2名 ・していない 2名

### 《分析及び考察》

【単元(教材)】に関する問題より、本学級の大部分の児童は登場人物の心情の読み取りができていると捉えられる一方、文章中の叙述を基に理由をまとめたり、話の大体を理解したりする力に課題(個人差)も見られる。

【学び合い】に関する質問より、文章を読み、思ったことや考えたことを交流する活動に意欲的に取り組む中で、互いの意見や感想の違いを明らかにしたり、互いの意見や感想のよさを認め合ったりする実態が見て取れる。しかしながら、友達の考えのよさを生かして、新たな自分の考えを作り出そうとする意識がまだ十分に高まっていない児童も見られることから、自分自身のものの見方・感じ方を広げ、深めていく「学び合いのよさ」を一人一人に実感させる必要がある。



# 単元計画

☆…「学び合い」の問い

## 学習内容

## 教師の働きかけ

1

単元のめあて  
登場人物の関係をとらえ、人物の考え方や生き方について話し合おう。

めあて  
「海の命」を読み、初発の感想をまとめ、自分なりの読みの課題をもとう。

- 教師の範読を聞き、「海の命」の初発の感想や疑問（読みの課題）をまとめる。

- ・ 登場人物の関係をとらえ、自分と同年代の主人公の生き方に対する自分の考えをもつことが、これからの自分の生き方を考える上で大きな意味をもつことにつながることを十分に意識させ、個々の主体的な学びを促す。
- ・ 自分なりの読みの課題をしっかりとまとめるために、前日までに数回、「海の命」を各家庭で音読させ、話の大体をつかませておく。
- ・ 児童がまとめた初発の感想や疑問は、一覧表にして第2時で配布する。

2

めあて  
初発の感想や疑問をもとに友達と話し合い、自分の読みの課題を決めよう。

- 「初発の感想一覧表」を読み、自分が納得したり疑問に感じたりしたことなどを基に、友達と自由に話し合う。

- ・ 「納得・共感」できるものには赤色で、「疑問・もっと考えたい」と感じたものには青色で印を付け、友達と自由に対話させることで、多様な意見や疑問に出会う中で、自分が更に深めてみたい読みの課題を明らかにさせる。
- ・ 友達との対話活動をとおして、自分自身のものの見方・感じ方を広げ、深めていく「学び合いのよさ」を一人一人に実感させる。

3

めあて  
太一と太一に関わる登場人物との関係は、どのように表されるだろう。

- 個々の登場人物の人物像や、太一と太一に関わる登場人物との関係を、人物関係図にまとめる。

- ・ 各自が立てた読みの課題の解決につながるために、人物同士の関係に着目して読み、人物関係図に整理する活動に取り組ませる。
- ・ 最初に「わらぐつの中の神様」を例として、人物関係図のまとめ方を理解させることで、一人一人が本教材における人物関係図の作成に自力で取り組めるようにする。

4

めあて  
人物関係図をもとに、自分の読みの課題について考えをまとめよう。

- ☆ 自分のまとめた人物関係図と友達の人物関係図を比べて、「なるほど」「いいな」と感じたところはどこかな。

- ・ 各自がまとめた人物関係図を基に、お互いの読みを共有させることで、自分の考えを広げさせ、そこで得られた新たな考えを、人物関係図に書き込ませる。
- ・ 追加で書き込んだ人物関係図を基に、自分の読みの課題に対する考えを、文章中の叙述を理由にしてまとめさせる。

5

めあて  
読みの課題をテーマに、おたがいが読み取ったことについて話し合おう。

- 読みの課題をテーマとして、それぞれのグループに分かれ、お互いが読み取ったことを話し合う。
- ☆ 文章を読み、自分が読み取ったことと友達が読み取ったことを比べて、共通するところ・違うところはどこかな。

- ・ 事前に、個々の読みの課題を把握しておき、内容が大枠で一致する4人程度のグループを編制することで、各グループの話し合いが活発に行われるようにする。
- ・ 話し合いの際には、前時までにまとめた人物関係図を基に自分の考えを述べたり、個々の人物関係図を比較させたりするように助言することで、自分と友達の考えの共通点や相違点に気付かせ、一人一人の読みを広げたり深めたりさせる。

6

めあて  
太一と太一に関わる登場人物の考え方や生き方について考えをまとめよう。

- ☆ 友達との対話をとおして、最初の自分の考えがどのように変わったり、深まったりしたかな。

- ・ 特に、友達との学び合いをとおして、自分の読みがどのように変容したかという視点に沿って、自分の考えをまとめさせる。
- ・ 自分がまとめた文章と、第1時でまとめた初発の感想の内容を比較させることで、本単元における自己の学びを振り返らせるとともに、身に付けた読みの力を十分に実感させる。

本時・「学び合い」の流れ		☆…「学び合い」の問い
過程時間	学習活動	教師の働きかけ ※…評価
問いをもつ 4分	1 前時の学習内容を振り返る。 2 本時の学習課題を設定し、ゴールを確かめる。 — めあて — 読みの課題をテーマに、おたがいが読み取ったことについて話し合おう。 3 学習の進め方を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習計画表を基に、前の時間、人物関係図を参考にして、自分の読みの課題に対する考えをまとめたことについて振り返らせる。</li> <li>前時までの学習とつなげ、本時の学習課題を設定することで、自分の読みを広げたり深めたりするという、本時のゴールを十分に意識させる。</li> <li>本時における学習の流れや見通しをしっかりとめさせることで、児童がより主体的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
学び合い 30分	4 読みの課題をテーマに、それぞれのグループに分かれ、考えを話し合う。 ☆ 文章を読み、自分が読み取ったことと友達が読み取ったことを比べて、共通するところ・違うところはどこかな。 5 各グループで話し合った内容を基に、全体で読みを深める。 ☆ 1グループの～という考えと、2グループの～という考えを関係付けると、どのようなことが言えるかな。 6 自分の読みの課題に対する考えをまとめる。〔再自力解決〕 ☆ 友達との学び合いをとおして、最初の自分の考えがどのように変わったり、深まったりしたかな。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に、個々の読みの課題を把握しておき、内容が大枠で一致する4人程度のグループを編制する。</li> <li>人物関係図を基に自分の考えを述べたり、個々の人物関係図を比較させたりするように助言することで、自分と友達の考えの共通点や相違点に気付かせ、一人一人の読みを広げたり深めたりさせる。</li> <li>各グループで話し合った内容を相互に関連付けて考えさせることで、太一が対峙するクエによって、海と共に生きる意味(=人間と自然との共生)を理解し、一人の人間として成長するという、作品の主題に迫れるようにする。</li> <li>友達の考えのよさを生かして、新たな自分の考えを作り出すように促す。</li> <li>※ お互いの「読みの課題」をテーマに対話することを通して、自分の読みを広げたり深めたりすることができている。(読)[ワークシート]</li> </ul>
まとめ 7分	7 本時の学習のまとめをする。 — まとめ — 「海の命」という作品には、「自然と共に生きること(共生)」が、主題の一つとしてえがかれている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループから出された考えを相互に関連付けながら、クエを殺さなかった太一の心情について整理することで、「海の命」の主題について考え、まとめさせる。</li> <li>作品のもう一つの主題となる「一人の人間の成長や生き方」については、次時で詳しく扱うため、本時では軽く押さえる程度とする。</li> </ul>
ふりかえり 4分	8 本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の内容について</li> <li>友達との学び合いについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この学習で身に付いたことや深まったことなどを自分の言葉で表現させ、自己の学びの変容について自覚化させる。</li> <li>※ お互いの「読みの課題」をテーマに対話することを通して、自分の読みを広げたり深めたりすることができている。(読)[ワークシート]</li> </ul>

## 第6学年「海の命」本時 5/6 学び合いシート

### 本時の「めあて」

読みの課題をテーマに、おたがいが読み取ったことについて話し合おう。

### 実際の「学び合い」

<b>視 点</b>	各グループにおける話し合いのテーマに沿って、太一の考えなどに関するそれぞれの意見や感想を共有する。
<b>1 自力解決</b>	(前時において,) 自分の読みの課題に対する考えを、文章中の叙述を理由にしてまとめる。
<b>2 集団解決</b>	4人程度のグループで13分間、全体で13分間の計26分間、話し合う。

### 予想される児童の考えと教師の発問

 <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">父や与吉じいさの言動は、太一の考えに何か影響を与えたのだろうか。</p>	 <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">太一にとってクエは、最初、どのような存在だったのだろうか。そして、どのように変わったのだろうか。</p>
<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">与吉じいさの「千びきに一びきでいい。」という教えを思い出したから、クエを生かしたのかな。</p> 	<p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">父を倒したクエは、自分の手で必ず仕留めたいと心に誓った「敵」そのものだったと思います。</p> 
 <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">母の心配も心のどこかにあったかもしれません。父のように命を落とす可能性もあったので…。</p>	 <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">Aさんと同じで、その後、海に生きる生き物たちの一部として、見方が変わったんだと思うな。</p>
 <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">P211の「村一番の漁師」とP210の「本当の一人前の漁師」の意味は同じだろうか。違うだろうか。</p>	 <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">海の生き物の命に対する考え方が正反対だと思います。</p>
	 <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">生きるために必要なだけの命をいただくという考え方に変わってきているね。</p>

<b>3 再自力解決</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太一にとってクエは、父の敵という存在から、海の命という存在に変わったから、太一はクエを殺さなかったのだと思う。</li> <li>・ 太一は、「海のめぐみ」という父の考えと、「千びきに一びき」という与吉じいさから学んだことを振り返り、クエを生かすことが海の命を守ることに繋がると考え直したから、クエを殺さなかったのだと思う。</li> </ul>
----------------	--

### 本時の「まとめ」

「海の命」という作品には、「自然と共に生きること（共生）」が、主題の一つとしてえがかれている。

### ふりかえり

- ・ 太一が、父や与吉じいさから、自然に感謝する心や、自然を大切にする心、自然と共に生きることのすばらしさを学んだことと、クエを生かす選択をしたことがつながった。
- ・ クエを捕らえることが一人前の漁師ではなく、逆に、クエを捕らえずに生かすことが一人前の漁師であることに太一は気付いたから、とても立派だと感じた。
- ・ 友達との学び合いを通して、より深く太一の考えを読み取ることができた。



授業の視点（分科会での討議の柱）

- 「学び合い」は本時の目標を達成するために効果的であったか。
  - ① グループで解法を話し合う活動
  - ② 友達に説明したり、友達の説明を聞いたりする活動

単元・題材名	算数のまとめ（面積）
--------	------------

単元（題材）・本時の目標（評価規準）

- 【単元（題材）】
- ・面積の求め方を理解し、具体的な事象について面積を求めることができる。 【知識・技能】
  - ・図形を構成する要素や性質に着目し、面積の求め方を図や式に表して説明したり、聞いたりして自分に合った解法を見出すことができる。 【思考力・判断力・表現力等】
  - ・面積を求めるよりよい解法を見つける活動に意欲的に取り組み、図形を構成する要素や性質に着目するよさに気づき、学習や生活に生かすことができる。 【学びに向かう力・人間性等】

- 【本時】（2/2）
- ・具体的な事象の面積を求める活動をとおして、図形を構成する要素や性質に着目し、面積の求め方を図や式に表して説明したり、聞いたりして自分に合った解法を見出すことができる。 【思考力・判断力・表現力等】

単元の位置とねらい

本単元では、数学的活動をとおして、これまでに学んだ知識や技能を生かし、課題を解決する力をつけさせたいと考え、単元「算数のまとめ(面積)」を設定した。

本単元は、小学校で学習した平面図形の求積問題について、公式や計算方法を改めておさえ、発展的な問題にも取り組むので、小学校算数科のまとめを行い、中学校数学科への素地作りを行うのに適した単元であると言える。また、2単位時間(90分)を1つの授業と考え、前半は基本的な図形について公式を用いて面積を求める時間を設定し、後半は発展的な問題について、学び合いをとおして、考えを広めたり深めたりする時間を設定した。

児童の実態（平成30年12月14日 児童数29名 質職紙法）

- 【単元（題材）】に関する質問
- 1 次の図形の面積を求めなさい。（【 】は正答率）  
 正方形【72%】 長方形【86%】 平行四辺形【62%】 三角形【72%】  
 台形【76%】 ひし形【83%】 円【66%】
  - 2 次の公式を答えなさい。（【 】は正答率）  
 正方形【55%】 長方形【66%】 平行四辺形【62%】 三角形【69%】  
 台形【76%】 ひし形【83%】 円【76%】
- 【学び合い】に関する質問
- 1 算数の授業の中で、ペアやグループで友達と考えを伝え合ったり、問題を解いたりすることは好きですか。  
好き14人 どちらかというとき好き13人  
 〈理由〉複数回答可  
 ・分からなかったことが分かるから(11) ・自分と違う考えを知ることができるから(8)  
 ・楽しいから(6) ・自分の意見を聞いてもらえるから(2) ・仲良くなれるから(2)  
 ・教えて分かってくれると嬉しいから(2)  
嫌い0人 どちらかというとき嫌い2人  
 〈理由〉複数回答可  
 ・伝えるのが苦手だから(2)
  - 2 算数の授業で自分の考えを伝えるときに気をつけていることは何ですか？ 複数回答可  
 ・順序よく話す(7) ・絵や図を見せながら話す(5) ・自分の意見ばかり言わない(4)  
 ・相手に聞こえる声で話す(4) ・相手の目を見る(3) ・分からないことは質問する(3)  
 ・相手の苦手なことを意識しながら話す(3) ・ゆっくり話す(1)  
 ・算数の言葉を使って話す(1)

- 3 算数の授業で、相手の考えを聞くときに気をつけていることは何ですか？ 複数回答可
- ・自分の考えと同じところ、違うところを考えて(比べながら)聞く(12)
  - ・うなずく等の反応をしながら聞く(9) ・最後まで相手の話を聞く(5) ・目を見て聞く(4)
  - ・分からなかったら質問しながら聞く(4) ・手を止めて話を聞く(3)
  - ・考えが違って否定しない(3) ・大事な言葉に着目して聞く(1) ・メモしながら聞く(1)
- 4 算数の授業で、ペアやグループで友達と考えを伝え合ったり、問題を解いたりして「よかつたな」と思ったときはどんなときですか？ 複数回答可
- ・分からなかったことが解決できたとき(18) ・教えたおかげで、友達が問題を解けたとき(5)
  - ・友達と考え方が一緒だったとき(5) ・自分と違う考えを知ることができたとき(4)
  - ・自分の考えを相手が分かってくれたとき(3)
- 5 算数の授業で、ペアやグループで友達と考えを伝え合ったり、問題を解いたりするときに、自分が「苦手だな」と思うことはどんなことですか？ 自由回答
- ・自分が分かっていることを相手に教えること(5) ・相手の言っていることを理解すること(3)
  - ・相手の考えを取り入れること(2) ・自分の考えと比べながら聞くこと(1)

【分析・考察】

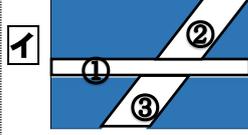
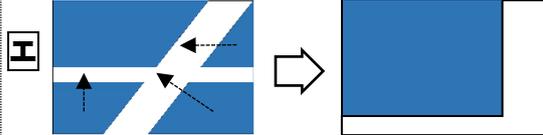
【単元(題材)】に関する質問①及び②より、正方形、長方形の面積を求める公式をそれぞれ「一辺×一辺×一辺」「縦×横×高さ」と書く児童が複数おり、体積を求める公式と混同している間違いが多いことが分かった。また、面積を求める問題を間違えた児童は、正しく公式を覚えていない、または忘れていく傾向にあることが分かり、改めて復習することの重要性がうかがえた。このことから、スモールステップでまずは正方形、平行四辺形といった基本的な図形の面積を求める方法や計算を再度おさえたうえで、複合図形の面積を求める問題や身近な事象の面積を求める問題へと発展させていくことが望ましいと考える。

【学び合い】に関する質問①及び④より、本学級は学び合うことが好きで、「分かる喜び」や「自分と違う考えに触れる楽しさ」を感じる児童が多いことが分かった。教師が意図をもって課題を与え、授業の中で学び合いの場を設定することで、主体的な学びが生まれることが期待できる。質問②から、相手に考えを伝えるときの順序や表現の仕方、ルールを意識できている児童が多いことが分かった。質問③からは、自分と相手の考えを比較しながら聞く力についてはついてきたものの、分からないことを質問しながら聞く力(自ら学習に関わる力)は育っていないことが分かった。これらのことから、まずは普段から慣れ親しんでいるペア活動を設定し、「自分が分かること、分からないこと」を明確にさせる必要があると考える。また、グループ活動へと人数を広げて、互いの考え方を交流させることで、自ら学習に関わろうとする態度を養うとともに学び合いのよさを感じさせたい。今後は児童同士の主体的な学び合いを目指すために、「分からない」と困っている児童が、質問しやすい環境をつくること(共感的な人間関係づくり、座席の配慮、話型の活用等)も大切になると考える。

単元計画 ☆…「学び合い」の問い

	学習内容	教師の働きかけ
1	<p>単元のめあて _____ 学習したことを思い出し、面積を求める問題を解こう。</p> <p>めあて _____ 面積を求める公式を使って、いろいろな図形の面積を求めよう。</p> <p>① 平面図形の求積公式を思い出す。 ② 基本図形の面積を求める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュ式で、面積を求める公式を復習できるようにする。</li> <li>・アンケート結果をもとに、本単元の必要性に気付かせ、単元及び本時のめあてにつなげることができるようにする。</li> <li>・面積を求める公式を答えた質問紙、基本の平面図形の面積を答えた質問紙の結果を提示し、間違えた問題をペアで解決させる。</li> <li>・基本図形の面積を求める活動を通して、既習事項の定着を図ることができるようにする。</li> </ul>
2	<p>めあて _____ 複雑な図形の面積は、どのようにして求めればよいのだろうか。</p> <p>① 身近な事象を取り上げた図形について、どのように考えれば面積を求められるか話し合う。 ② グループごとに考えた面積の求め方を説明し合い、自分が解きやすい方法で再度問題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人グループで身近な事象を取り上げた面積の求め方を考えさせることで、多様な考え方を引き出すことができるようにする。</li> <li>☆「どんな方法で面積が求められるかな。」</li> <li>☆「考えた求め方のよさは何かな。」</li> <li>・説明する役、説明を聞く役に別れ、各グループで考えた面積の求め方を交流し合うことで、新たな考え方に気付いたり、考えを深めたりすることができるようにする。</li> <li>・自分に合った面積の求め方はどの方法か、またその求め方を選んだ理由は何かを考えさせ、再度自力で解決させる。</li> </ul>

本時・「学び合い」の流れ

過程	学習活動	教師の働きかけ ※…評価
問いをもつ 5分	1 既習事項の確認をし、本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         複雑な図形の面積は、どのようにして求めればよいのだろうか。                     </div> 2 学習の進め方を確認する。 ・グループ→全体→1人	<ul style="list-style-type: none"> <li>フラッシュカードで、求積公式を復習できるようにする。また、カードを黒板に掲示しておくことで、公式を正しく活用して課題解決ができるようにする。</li> <li>見通しをもって学習に関わることができるように、学習の進め方を確認する。</li> </ul>
学び合い (学び合いシート)  集団解決         再自力解決	視点 複雑な図形の面積は、～(する)と求められる。	
	3 4人グループ(15分間)で考える。 C: 3つの台形と1つの三角形の面積を出して、最後に合わせて求めたよ。  $\begin{aligned} \text{①: } & (33+23) \times 14 \div 2 = 392 \\ \text{②: } & 10 \times 14 \div 2 = 70 \\ \text{③: } & (20+10) \times 11 \div 2 = 165 \\ \text{④: } & (13+23) \times 11 \div 2 = 198 \\ & \text{①+②+③+④} = 825 \end{aligned}$ T: この求め方のよさは何かな? C: 公式にあてはめて考えるだけだから、間違いが少ないと思うよ。	C: 全体から、白い部分(平行四辺形と長方形)を引いて面積を求めたよ。  $\begin{aligned} \text{全体: } & 28 \times 42 = 1176 \\ \text{白部分①: } & 3 \times 42 = 126 \\ \text{白部分②: } & 9 \times 14 = 126 \\ \text{白部分③: } & 9 \times 11 = 99 \\ & \text{全体} - (\text{①} + \text{②} + \text{③}) = 825 \end{aligned}$ T: この求め方のよさは何かな? C: 長方形と平行四辺形だけだから、計算が簡単だよ。
	C: 上半分(長方形-平行四辺形)と下半分(長方形-平行四辺形)に分けて考えて面積を求められたよ。  $\begin{aligned} \text{上部分: } & 14 \times 42 - 9 \times 14 = 462 \\ \text{下部分: } & 11 \times 42 - 9 \times 11 = 363 \\ & \text{上部分} + \text{下部分} = 825 \end{aligned}$ T: この求め方のよさは何かな? C: 長方形も平行四辺形も面積を求めるのは簡単だし、式がすっきりするよ。	C: 図形を動かすと、一つの長方形になるから簡単に求められるよ。  $25 \times 33 = 825$ T: 図形を動かすと長方形になることはどうすれば証明することができるかな。 C: 実際に、紙を切って動かしてみれば証明できそうだ。 T: この求め方のよさはなにかな? C: 速く解けるよ。
	4 他のグループと意見を交流する。(7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明する役、説明を聞く役に別れ、各グループで考えた面積の求め方を交流し合うことで、新たな考え方に気付いたり、考えを深めたりすることができるようにする。</li> </ul>
	5 全体で出てきた意見を共有する。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(エ)の考え方がグループから出てこない場合は、全体で取り上げる。</li> </ul>
	6 自分がよいと思った求め方とその理由を考え、再度問題に取り組む。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び合いによって深まったり、新たに見つけた考え方を生かすことができるよう、自力で類似問題に取り組ませる。</li> <li>※ 根拠をもとに、複数ある解法の中から自分に合うものを選択して、面積を求めることができる。</li> </ul>
まとめ 5分	7 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         複雑な図形の面積は、全ての形の面積をたしたり、図形を分けて考えたり、違う形に変えたりすると求められる。                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考え方は複数あり、自分に合った方法で解くことが大切であることをおさえたうえで、視点「複雑な図形の面積は、～(する)と求められる。」に沿った形でまとめることができるようにする。</li> </ul>
振り返り 3分	8 本時の学習をふり返り、次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な図形を電子黒板で提示し、「どのような求め方がよいか」問うことで、図形に合った解き方が必要であることをおさえ、本時の学習をふり返ることができるようにする。</li> </ul>



## 第3学年 算数科

3組 男子17名 女子12名 計29名  
指導者 入佐 俊幸 (西原小)

### 授業の視点(分科会での討議の柱)

- 「学び合い」は本時の目標を達成するために効果的であったか。
- ・ 自分の考えを友だちに説明する活動

### 単元名

分数

### 単元・本時の目標(評価規準)

#### 【単元】

- ・ 分数の仕組みや表し方に関心をもち、進んで考えたり使ったりすることができる。  
[学びに向かう力・人間性等]
- ・ はしたや等分してできる部分の大きさを、分数を用いて表すことができる。また、単位分数をもとに、分数の表し方や、簡単な場合の加減のしかたを考えたり、説明したり、まとめたりすることができる。  
[思考力・判断力・表現力等]
- ・ 分数の意味と表し方、簡単な場合の加減の意味を理解し、分数の構成や大きさなどについて豊かな感覚をもつことができる。  
[知識及び技能]

#### 【本時】(6/8)

- ・ 分数の加減を適用する場面が分かり、同分母分数の加減の計算のしかたを理解できる。  
[知識及び技能]
- ・ 分数の加減の計算のしかたを、単位分数のいくつ分で考え、的確に説明することができる。  
[思考力・判断力・表現力等]

### 単元の位置とねらい

本単元では、はした部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを表すのに分数を用いることを知り、それらを適切に用いることができるようになることをねらいとしている。そこで、数直線や液量図、テープ図といった図を用いて分数の大きさを表したり、大小を比較したり、加減の計算のしかたをこれらの図を用いて表現し、自分の考えを説明したりするといった数学的活動を通して、理解を深められるようにしたい。

### 児童の実態(平成31年1月22日 児童数29名 質問紙法)

#### 【単元に関する質問】

	問 題	正答	正答数	誤答例
①	等分された色紙の色のついた部分の大きさを、分数で書く。	1/4	17	1/3(6), 4/1(4), 1/2, 0.1
②	1/8 と 1/4 の大小比較をする。	<	3	>(26)

#### 【学び合いに関する質問】

- ③自分の考えを伝えるとき、どんなことに気をつけていますか。(複数回答、主な回答のみ)  
相手に分かりやすく(14)、声の大きさ(11)、話す順序(つなぎ言葉)(7)、相手が分かるまで(2)
- ④「学び合い」をしていいなと思ったときは、どんなときですか。(複数回答、主な回答のみ)  
自分の考えをしっかりと伝えられたとき(13)、教えてもらったとき(7)、問題が解けたとき(6)、みんなで考えを出し合えたとき(4)、自分の考えを分かってもらえたとき(3)、  
教えた後「ありがとう」といわれたとき(2)

#### 《分析及び考察》

①、②から、第2学年で学習した分数に関する内容については、約6割の児童が等分された部分の大きさを分数を使って表すことができている。しかし、分数の大小比較については、約1割の児童しか理解していなかった。このことから、本単元の導入段階において、具体物を用いるなどして、分数の意味を確実に理解できるようにしたい。

③、④から、「学び合い」における対話活動では、相手に分かりやすく伝えようと意識している児童が多いことが分かる。しかし、どのように分かりやすく伝えようとしているかについては、「声の大きさ」、「相手を見て」、「つなぎ言葉を使う」等、表現の方法について意識している児童が多い。そこで、本単元においては、「すっきり(簡単)」、「はっきり(正確)」、「どれでも(一般性)」という視点をもたせることで、問題解決のための分かりやすい説明ができるようにしたい。そうすることで、自分の考えをしっかりと伝えられたときの満足感や、問題が解けたときの喜びを学級の多くの児童が味わうことができるようにしたい。

単元計画 (☆「学び合い」の問い)	
学習内容	教師の働きかけ
<p>めあて</p> <p>はしたの長さは、どのようにしたら、mで表すことができるだろうか。</p> <p>1 ○ 1 mに満たないテープの長さの表し方を考え、<math>\frac{1}{4}</math> mの長さとはしたの長さを比較し、<math>\frac{1}{4}</math> mの意味を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分数の意味については、第2学年時の分数の学習を想起させつつ、単位分数のいくつかで表せることを、具体物の操作を通して理解できるようにする。</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>1 Lに満たないはしたは、どのように表すことができるだろうか。</p> <p>2 ○ カップに入った水のかさを調べ、<math>\frac{3}{4}</math>Lの意味、読み方、書き方を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに液量図やテープ図を描かせて考えさせるなどの数学的活動を通して、単位分数のいくつかで表せることを理解できるようにするとともに、対話活動の中でそのことを明確に説明できるように促す。</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>いろいろな長さやかさを分数を使ってはかるには、どうしたらよいだろうか。</p> <p>3 ○ 単位分数を1目盛とした分数ものさしや分数ますを作り、実際の量をはかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで活動させることで、対話活動を活性化させるとともに、実際の測量の時間を多く確保できるようにする。</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>分数のしくみは、どのようになっているのだろうか。</p> <p>4 ○ 単位分数をもとにして、分数の大小比較や分母と分子が同じ数のときには1と等しくなることなどを理解する。 ☆ なぜ、分子だけを比べればいいのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テープ図と対応させて、数直線を描かせて考えさせることにより、同分母分数では分子の数に着目すれば、大小比較ができることに気付くことができるようにする。</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>分数と小数の関係は、どのようになっているのだろうか。</p> <p>5 ○ 分母が10の分数と小数の関係を理解する。 ☆ 分数と小数の大きさを比べるには、どうしたらいいのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つの数直線に、分数と小数の目盛を書かせることで、視覚的に大きさを捉えることができるようにする。また、分数と小数の大小比較についても、数直線をもとに考えられるようにする。</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>分数のたし算とひき算は、どのように計算すればよいのだろうか。</p> <p>6 ○ 問題文を読み、加法と減法の式を立て、その計算のしかたを理解する。 ☆ なぜ、分子だけの計算でいいのか。</p> <p>本時</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>液量図やテープ図を用いて考えさせることで、分数の場合も整数や小数の時と同じように、加減の計算ができることを理解できるようにする。</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>これまでの学習を振り返り、練習問題をしよう。</p> <p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を用いて練習問題に取り組むことで、理解を深めることができるようにする。</li> </ul>
<p>めあて</p> <p>力だめしをして、学習したことを確かめよう。</p> <p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を用いて力だめしに取り組むことで、これまでの学習内容を確かめられるようにする。</li> </ul>

		本時・「学び合い」の流れ (☆「学び合い」の問い)	
過程 時間		学習活動	教師の働きかけ (※評価)
つかむ・見通す 7分	1 前時の学習内容を振り返る。 2 本時の学習課題を確認する。 ・ 合わせて何Lの牛乳を飲んだでしょうか。 ・ のこりのジュースは、何Lでしょうか。 式を立てる。 $1/5+2/5$ , $7/8-5/8$ 3 学習問題を焦点化する。 めあて $1/5+2/5$ と $7/8-5/8$ は、どのように計算すればよいのだろうか。 4 学習の進め方を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>はしたは、単位分数のいくつ分かで表すことができるということを振り返ることで、分数のたし算とひき算の計算の方法に生かしていくことができるようにする。</li> <li>分数の場合も、整数や小数と同じようにたし算やひき算ができるのかを考えさせることで、学習問題へと焦点化できるようにする。</li> <li>本時における学習の流れや見通しをしっかりとめさせることで、児童がより主体的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	
学び合い 28分	5 どちらかの計算を選び、自分なりの方法で考える。〔自力解決〕 6 同じ計算を選んだ友だちと説明し合う。 ☆ 自分の考えは、友だちの考えと同じかな。 7 友だちの考えを参考にして、自分自身の考えをまとめる。〔再自力解決〕 8 全体で、計算のしかたを確かめる。 9 なぜ、分子だけの計算でよいのか、説明する。 ☆ なぜ、分子だけの計算でいいのかな。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び合いで積極的に説明し合うことができるように、自分の考えをしっかりとめするための時間を十分に確保する。</li> <li>液量図を操作させながら考えさせることで、単位分数のいくつ分かを理解できるようにする。</li> <li>自分の考えと友だちの考えの共通点及び差異点に着目させることで、自分の考えをさらに深めることができるようにする。</li> <li>全体で、液量図の操作を行うことで、全員が視覚的に答えを確認することができるようにする。</li> </ul>	
まとめ 3分	10 本時のまとめをする。 まとめ $1/5+2/5$ と $7/8-5/8$ は、分母はそのまま、分子だけをたしたり、ひいたりすればよい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学び合い」を通して考えたことや理解したことを振り返らせることで、自分自身の言葉でまとめることができるようにする。</li> </ul>	
生かす 7分	11 練習問題を行う。 12 本時の振り返りと、次時の学習の確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を行うことで、本時の学習内容の定着を図ることができるようにする。</li> </ul>	

### 第3学年「分数」本時 6/8 学び合いシート

#### 本時の「めあて」

分数のたし算とひき算は、どのように計算すればよいのだろう。

#### 実際の「学び合い」

視 点	意欲をもって課題に取り組み、自分の考えを友だちに説明することができたか。
1 自力解決	分数のたし算とひき算のどちらかを選び、液量図を操作しながら自分なりの方法で、計算のしかたを考える。
2 集団解決	同じ計算を選んだ友だち同士で、互いに計算のしかたについて説明し合うことにより、自分の考えをさらに深める。

#### 予想される児童の考えと教師の発問

教師

整数や小数のたし算やひき算と同じように、計算ができるのかな。

児童

同じように式が立てられるから、計算も同じようにできるんじゃないかな。

児童

分子は分子同士、分母は分母同士で計算するとか・・・

児童

分母はそのまま、分子だけを計算すればいいんだよ。

教師

なぜ、分母はそのまま、分子だけの計算でいいのかな。

児童

$1/5 + 2/5 = 3/10$  だと、たし算なのに、答えが小さくなってしまうよね。  
 $7/8 - 5/8 = 2/0$  だと、何か変だし・・・

児童

$1/5$  がいくつ分あるか、 $1/8$  がいくつ分あるかで考えると、分子だけの計算でいいと思うよ。

### 3 再自力解決

友だちの考えと同じであったか、そうでなかったかに着目して学び合いを行うことで、友だちの考えを参考にして、自分の考えをまとめる。

#### 本時の「まとめ」

分数のたし算とひき算では、分母はそのまま、分子だけをたしたりひいたりすればよい。

#### ふりかえり

- 分母は、1 mや1 L などのもともになる大きさを何等分したかを表し、分子は、それを何こ集めたかを表している。
- 分数のたし算とひき算は、もともになる分数がいくつあるかを考えると、整数や小数のたし算やひき算と同じように計算できる。だから、分母はそのまま、分子だけの計算でよい。
- 友だちとの「学び合い」を通して、分数のたし算とひき算をどのように計算すればよいのか、自分たちで考えることができた。
- 「学び合い」の対話活動において、友だちのいい考えやおもしろい考えを発見できた。また、友だちの説明が、問題を解決するのに役に立った。

授業の視点（分科会での討議の柱）

- 「学び合い」は本時の目標を達成するために効果的であったか。
- ・ 自分の考えを友だちに説明する活動

メモ